

学ぼう明日へ!

サポート通信

問合せ 確かな学び推進会議
☎76・4233

11

冬も「やまびこ」で学習

冬休みの「やまびこ」

昨年度から始まった「やまびこ」も、今回で4回目となりました。

「やまびこ」は、町内の児童生徒の学習をサポートすることを目的として、主に道内の大学生ボランティアを募り活用する事業で、道教委の協力を得てスタートしました。参加した児童生徒の人数は回を重ねるごとに多くなつて



います。小学生は137人、中学生は37人が参加しました。冬はどうしても天候が不順となりがちですが、元気な表情で毎回参加していました。

会場は夏休みと同様にゆめりあと改善センターを使用しました。小学校1・2年生と3・4年生が午前中に2グループに分かれて、小学校5・6年生と中学生が午後から2グループに分かれて、1日に2時間ずつ学習しました。

たくさんの方々の協力

今回の「やまびこ」もたくさんの方の協力を得ることができました。

夏休みよりも協力者が増え、なんと約49人ものボランティアが指導にあたってくれました。内訳は、大学生が15人、中学校のPTAが5人、小学校のPTAが8人、とつぷ子どもゆめクラブの方が4人、地域の方が2人、小中学校の教職員が15人です。

たくさんの方々を支えられながら「やまびこ」が運営されています。

「やまびこ」の効果

長期休業中は、生活習慣や学習習慣が何かと乱れがちになつてしまいます。特に年末年始をはさみ、楽しいスケジュールが待っていればなおさらのことです。

そんなときに、この「やまびこ」が実施されることで、休業中の過ごし方を子どもたち自らが主体的に改善しようとして取り組めるのです。

また、せっかく学習した内容も、そのままにしておいて



は、忘れる一方。だからこそ、確実に定着させていくことが必要なのです。冬休みをどのように過ごすのも本人次第です。でも、そのお手伝いをさせてもらうのが「やまびこ」なのです。

「やまびこ」では、ドリルなどをを用いての自学自習が基本です。わからないところやつまづいているところがあれば、ボランティアのお兄さんお姉さんが教えてくれます。

きつと「やまびこ」で学んだ4日間が、冬休み明けの生活の中で大きな変化をもたらしてくれるに違いありません。